

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

| | | | | |
|-------------|--|---------------------------|----------|-------|
| ■事業の担当課 | 農林部農政課 | | ■担当係 | 農政企画係 |
| ■評価事業名称 | 北上地方農林業振興協議会負担金 | | | |
| ■評価事業コード | 050100 - 020 | ■会計区分 | 一般会計 | |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり | | |
| | ■基本施策 | 03 魅力ある農林業の振興 | | |
| | ■施策 | 01 農業の生産性向上 | | |
| ■事業の類型 | 06 負担金・補助金(ソフト事業) | | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に特に定めのないもの | | | |
| ■法令等の名称 | | | | |
| ■関連計画の名称 | | | | |
| ■事業の概要 | 関係機関・団体の連携協調のもとに、農林業の振興と農山村の活性化に資する事業を行い、もって北上地方の農林業及び農山村の発展に寄与する。協議会運営に対する関係機関・団体の負担金 | | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成24年度事業計画 | 平成24年度事業量実績 |
|--------|-----------------|--------------|------------|---|
| 01 | 北上地方農林業振興協議会負担金 | 北上地方農林業振興協議会 | | 関係機関、団体が連携した各種研修、活動支援、情報提供等の実施…6事業24項目の事業推進 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | 940 | 940 | 941 | 940 | |
| 人件費 | 494 | 491 | 243 | 79 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 1,434 | 1,431 | 1,184 | 1,019 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 指標の説明 |
|-------|--|------|------|------|------|----------------------------|
| 01 | 関係機関・団体、農業者・林業者との一層の協働のもと各般にわたる対策への取組み | 6事業 | 6事業 | | 6事業 | 4専門部会に分かれて、各事業項目について活動を実施。 |
| 03 | 6事業の推進 | 6事業 | 6事業 | | | |

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

振興局管内の市町の負担金を原資に、管内における先進的な農業振興施策に対し、本協議会が助成を行うことにより事業実施されている。当市では24年度に6事業が実施され、産直連絡協議会や北上4Hクラブ等への助成が行われ、それぞれの活動が助長されている。

問題点・課題等

原資となる負担金は、以前に比べて少額となっていることから、実施事業の規模については限界がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明